

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2018年
8月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<http://www.nskk.org/kobe/>

発行責任者
司祭 小南 晃

印刷所
文明堂印刷所

果報は寝て待て

司祭 ヨハネ 芳我 秀一



生きていますが、神の国とは一体どのようなところなのでしょう。

諺に「果報は寝て待て」とあります。幸運は、人の力ではどうにもならないので、その時が来るまであせらずに待てと云う意味ですが、ここで言いたいことは決して寝て待つていれば幸運が転がり込むなどという事ではありません。

特にわたしたちキリスト者は、神の国を待ち望みながら

(マルコ伝4章26、27節)

主イエスは、弟子たちや周囲にいた人々に「神の国」は、「成長する種」のようなものだと言われました。人が土地に種を蒔いて、夜昼、寝起き

しているうちに、種は芽を出して成長するけど、どうしてそうなるのかは分かりません。土はひとりでに実を結ばせますが、それは大地を創造された神が実を結ばせて下さると云うことです。

〈農夫の生き方〉

ところで蒔かれた種のお世話をする農夫は、「夜昼、寝起きして」一日の生活を送っていました。昼夜ではありません。夜昼です。つまり、彼らの一日は夜、「さあ、新しい一日になった。お休みなさい。」といって眠ることから一日が始まるのです。一日、一日一生懸命種を蒔いた。新しい一日が来た。さあ、どうしようか、ではないのです。一日の働きの実りを神にお任

せして床に入ることからその日が始まるのです。

2000年にノーベル化学賞を受賞した白川英樹元筑波大学教授は、ポリアセチレンの薄膜合成によってノーベル賞を受けられたのですが、このポリアセチレンの薄膜合成の実験をする際に、誤って通常の1000倍の濃度の触媒を使った結果、偶然その薄膜が出来たというのです。白川先生は、「偶然を生かすには、日頃から知性を磨くことが必要」と講演で呼びかけました。「偶然」という時は、日頃からこつこつ準備がなされているこそ、その時に出会えるのです。何もしなくて幸運は、来ないと言いうことです。白川先生もおそらく何百回という薄膜合成の実験をされていつその偶然が起きてもいい状態を作っておられたということだと思います。

〈神の国を見る準備〉

現代は、インターネットの時代です。多くの若者がイン

ターネットを使って情報を集めたり仲間を作っています。先日、一人の青年がこのインターネットを見て、当教会を知り、洗礼を受けられました。キリストに支配される新しい人が誕生する。これが福音の実りであり、目に見える神の国です。

ここで大切な事は、先ず教会がインターネットをつかって出会いの準備をしていたことです。また教会が毎日曜日に礼拝を守るといふ基本的準備をしておられるから、この青年は主にある交わりである教会の礼拝に出席できて神の家族へと導かれたのです。

神の国を見る偶然の時に出会えるように、これからも良く準備しながら寝て待つ信仰生活を送ることが大切です。

(徳島インマヌエル 教会牧師)

(富岡キリスト教会 管理牧師)

(鳴門聖パウロ教会 管理牧師)

速報 平成30年7月豪雨について

「神戸教区被災者支援室」より

平成30年7月豪雨の被害は広範囲にわたり、多くの避難者、行方不明者、犠牲者が数えられています。そして、そのために今、多くの人々が辛く苦しいときを強いられることとなっています。

生じているとの情報に基づき、近隣教会からポリタンクやバケツなどを広島復活教会に搬送して対応に当りました。交通渋滞や物資の流通が滞っているなどの問題もあり、被災地の教役者や信徒の皆さんは苦慮しておられます。支援室は、急遽、教役者を広島に派遣し、応援に向かっていたできました。



(広島県呉市での崖崩れ)

神戸教区は、9日に上記災害に対して「日本聖公会神戸教区被災者支援室」を立ち上げ、今後の被災者支援について調査・立案しています。この支援室の活動が、2012年日本聖公会宣教協議会(宣教と牧会の十年)提言の一つに掲げられている「社会の必要に応え、仕えること。(教会の5要素)」と捉え、教会の使命としてどの様に実現することができるか模索しています。

7月9日、広島県呉市や東広島市で断水による水不足が

現在、フェイスブックの「日本聖公会神戸教区被災者支援室」を立ち上げ、現地の調査を行うつつ、広島県での緊急対応などを行っている情報などをお伝えしています。今後は、7月17日(火)に岡山で被災者支援室の会議を行い、今後の支援の方向性や必要な援助について話し合う予定に

ています。

被災者支援室の働きは、教会の働きであり、それが神様の御心になつていなければなりません。そのためには皆様の祈りによって支えていただく必要があります。どうぞ、私たちの働きのために神様にお祈りくださり、ご理解・ご協力くださることをお願い申し上げます。

(神戸教区被災者支援室
社会部長 司祭 瀬山会治)

日本聖公会総会 第64定期総会開催

去る6月5日(火)～7日(木)に日本聖公会総会が日本聖公会センター(東京教区牛込聖バルナバ教会)で開催された。本総会は現在、空位になっている東京、横浜教区を除く全ての主教及び各教区から選出された2名の聖職代議員と2名の信徒代議員によって構成され、過去2年間に渡る管区諸委員会の活動報告を承認し、また日本聖公会に起こる諸問題について協議した。



今総会において注目されたことは、先ず新しい祈祷書改正に向けて着実に準備が進められていることである。例えば、総会で承認された祈祷書の式文に変えて祈祷書改正委員会が起草した試案を試用する場合、現在の規則ではその都度教区主教の許可が必要であり、改訂祈祷書の確定に向けた知見を得るのに時間が掛かり現実的とは云えない。そのため主教会による試案試用の承認を条件としてこれを試用できる議案が承認された。

次に注目されたことは「女

性司祭の実現に伴うガイドライン」が改訂されたことである。1998年第51回(定期)総会で「女性司祭の実現に伴うガイドライン」が制定されたが、現在も女性の司祭職を巡る状況は現実的にも意識の上でも痛みが存在することである。そのため今回の改訂となり、特に「女性の聖職位に関わる委員会」が設置されることになった。この委員会は女性の聖職に関する相談窓口を設置し、諸問題を調査するチームを置いて事実関係を調査した結果を主教または主教会に報告することになっている。

この他、長期にわたる首座主教の多選を避けるために「日本聖公会首座主教選挙規則」の改訂に関する議案が提出されたが唯一否決された。また今総会では首座主教選挙が行われ、植松 誠北海道教区主教が再選された。

全ての審議終了後、横浜主教選挙が行われ、第1回の投票で入江 修司祭が当選された。

(代議員 司祭 芳我秀二)

オーガスタンの まなざし



主教 小林 尚明

5月26日(土)

松江基督教教会巡回のため、松江に入り、午後7時から8名の信徒の皆さんと夕食会をご一緒しました。

その時のことです。あるご婦人から「杉野先生は、すばらしい説教をされるんですよ。時々原稿を出しては、読み直しています。」とのこと。巡回などで信徒の皆さんとお会いする時、耳にするのは、牧師に対する希望が多いように思います。しかしこのご婦人は牧師に対する喜びを伝えてくださいました。「そんなにすばらしい説教なら、見せてください」とお願いして、夕食会を終えました。

5月27日(日)

午前10時半からの聖餐式の説教、赦罪、祝祷と共に、杉野達也司祭の長女(第2子)の洗礼式を行いました。ふとこの子が大きくなって、堅信式を受けるまで主教職を頑張りたいなあ、

と思ったことでした。礼拝後、美味しいおうどんを頂き、しばしの歓談をして、午後3時からの境復活教会の礼拝のため杉野司祭家族と共に境へ移動しました。境の礼拝には、付属の聖心幼稚園の園長先生や職員の方達もたくさん出席され、楽しい礼拝でした。礼拝後、信徒の方のお宅でバーベキュー・パーティーが行われ、礼拝に出席しておられた先生たちも招かれ、楽しい夕食会でした。感謝。

説教原稿

神戸に帰って、家内からあのご婦人から預かったという原稿を渡され、読んでみました。それは昨年11月26日の説教でした。イエス様の言われた「互いに愛し合いなさい」という言葉と、「互いに愛し合う教会」へ成長したいという杉野司祭の思いが、分かりやすい言葉で書かれていました。そして、どんなに小さな教会でもその中でイエス様の愛が分かち合われれば、その愛はイエス様に用いられ、私たちの周りに広がっていく、というイエス様を信頼したすばらしい説教でした。山陰での杉野司祭の働きが祝されます様にとお祈りしました。

(神戸教区主教)

礼拝音楽研修会

「歌いやすい 伴奏をめざして」

主日の聖餐式で歌う歌は、次の2種類に分けられます。

① 祈りの言葉にメロディがついたもの(チャント) ② 歌のリズムに合わせて歌詞が書かれたもの(聖歌)。会衆が気持ちよく自然に声を合わせられることを目指すことは、奏楽者の役目です。

なぜ歌うのか? それは何よりもその歌の内容を音楽の力によって深く理解し、皆で心を合わせるためです。そのためには、その歌の効力が発揮される歌い方を生み出す、歌いやすい伴奏が必要です。

まずは②の前段階として①を取り上げました。どのようなチャントを伴奏する場合にも応用できる基本的なポイントについて、具体的に試す目的で、2つのチャント(マリアの賛歌・シメオンの唱)を課題曲としました。どうすれば会衆各自が「言葉の意味を

感じながら」「一緒に」「自然に」歌えるのか、チャント伴奏の諸問題をひとつずつ挙げながら、今まで悩み抜いてきた私なりに、解決方法を具体的に提案し、皆で歌いました。

午後はこの研修の目的の一つである、わかちあい。参加者各自が抱えている、奏楽に関する現状、困っている点、努力している点などについて発言し、意見交換をしました。

午前中の経験を活かし、午後は14名が聖歌を伴奏し皆で歌いました。14曲の聖歌は全くスタイルが異なり、その世界観を表現するために、また自然なブレスでのびのび歌うための工夫を具体的に試しました。タッチや身体の使い方を工夫し、音形の表現方法、音色、和声、拍の取り方など音楽構造を見ていくことによって、自然なフレーズや息遣いが誕生していく様子は、感動的でした。

神戸国際大学のチャペルを会場として選んだ理由は、豊

かな響きと、たくさんの表情を持つオルガンが大学の財産であると同時に教区の財産でもあると考えたからです。

最後に、八代智学院長による心温まる司式説教により、研修で取り上げた歌を用いて夕の礼拝が捧げられました。各地からの30名の参加者とスタッフの皆様は、心より感謝いたします。



6月23日(土) 開催

(教区オルガン委員会
神戸教区オルガニスト

伊藤 純子

鳩だより

《敬称略》

祝 洗 礼

6月9日(土)

パウロ 高森 艶男

神戸聖ミカエル教会

6月10日(日)

ハンナ 金 関 秋 音

岡山聖オーガスチン教会

祝 堅 信

6月10日(日)

ハンナ 金 関 秋 音

岡山聖オーガスチン教会

ご 逝 去

6月11日(月)

アグネス 寺 澤 玲 子

神戸聖ペテロ教会

教 籍 移 動

5月16日(水)

ソフィア 芳 我 純 子

姫路顕栄教会より

徳島インマヌエル教会へ

5月18日(金)

サムエル 芳 我 顕 司

ガブリエラ 芳 我 翼

ミカエラ 芳 我 直 美

パウロ 芳 我 誠 司

姫路顕栄教会より

神戸聖ミカエル教会へ

徳島インマヌエル教会
教会・牧師館改修工事
に伴う献金をお願い

わたしたちの徳島インマヌエル教会の建物は、築後48年になります。信仰の諸先輩方が苦労されて建てられた鉄筋コンクリートの立派な建物です。しかし、年月の経過とともに老朽化が進み雨漏りや外壁の痛みがひどくなりこのまま見過ごすことが出来なくなりました。

昨年、耐震検査を行いました。問題無いことがわかり、特に痛みのひどい場所から改修工事を施すことになりました。

た。わたしたちの教会が再び新築の頃のような姿を回復できますように、どうか皆様の教会でも祈りにおぼえていただき献金をお願いする次第です。

募金目標額は500万円です。宜しくお願い致します。

○改修工事の内容

- 1、大屋根・防水工事
- 2、外壁塗装工事
- 3、牧師館内装工事
- 4、その他



○改修工事期間

2018年

6月1日～10月31日

○改修工事の費用

総工費

25,000,000円

○資金計画

教会基金

10,000,000円

教会内募金

10,000,000円

教会外募金

5,000,000円

(募金目標額)

徳島インマヌエル教会

牧師 ヨハネ 芳我秀一

教会委員会

日本聖公会神戸教区
徳島インマヌエル教会
改修工事献金振替口座(ゆうちょ銀行)
01660-3-43203

(加入者名:宗教法人 日本聖公会徳島インマヌエル教会)

通信欄に「改修工事献金のため」とご記入ください。

(2018年12月末まで)

9月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2018年9月6日(木) 午前10:30

場所 神戸聖ミカエル大聖堂

司式 主教 小林 尚明

説教 司祭 藤井 尚人

*9月の記念逝去教役者

1日	伝道師	緒 方 政 枝
3日	伝道師	上 西 八 枝
4日	執 事	ラザロ 布 施 好 古
9日	伝道師	三 宅 福 恵
10日	司 祭	ステパノ 片 山 民 治 郎
12日	主 教	ヘンリー エ ビ ン ト ン
13日	宣教師	レティシア エ ド ワ ー ズ
16日	司 祭	ウイリアム マレー=ウォルトン
17日	司 祭	アブラハム 米 村 勇 雄
20日	伝道師	吉 田 照 子
不明	宣教師	ドロシー グ レ ッ グ ソ ン

